

## 伊勢湾貧酸素情報（第2報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、湾中央部を中心に2 mg/L以下の貧酸素水塊が確認されました。白子沖でも2 mg/L以下が確認されています。

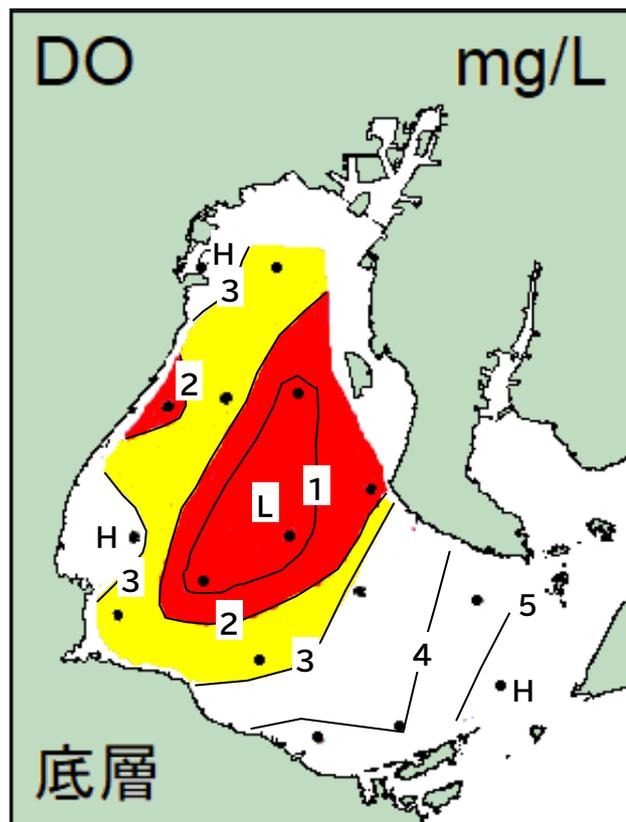
### 7月3日の調査結果

7月3日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で21.8～26.4℃、10mで20.8～23.2℃、底層で17.1～21.7℃の範囲にあり、表層は平年並み、10m及び底層は平年より高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で6.0～13.0 mg/L、10mで4.0～5.0 mg/L、底層で0.1～5.5 mg/Lの範囲にあり、表層は平年よりかなり高め、10mは平年並み、底層は平年より高めとなっていました。

今後、表層水温の上昇に伴って成層が発達すると、貧酸素水塊の範囲がさらに広がる可能性があります。

今後の操業にあたっては、貧酸素水塊の動向に十分に注意してください。



底層貧酸素水塊分布図